

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

＜試料・情報の利用目的及び利用方法＞

●研究の名称

固形癌に対する化学療法を受ける患者における予後予測因子の整合性についての検討

●研究の対象

2019年2月1日から2023年8月31日に京都第二赤十字病院腫瘍内科・緩和ケア科に受診した患者さんを対象とします。

●研究の目的

がん治療終了後やがん治療を選択せずに療養している患者さんにとって、残された時間のある程度予測することは非常に重要なことです。また化学療法を中止するタイミングも、不応や不耐、標準治療が終了したときが一般的で、化学療法を中止する判断基準に予後は入っていません。亡くなる直前まで化学療法を受けている症例もあり、がん患者さんの人生の最終段階における意思決定支援に役立つ簡易な指標があれば、治療継続の話し合いに役立つものと思われます。そこで、がん患者さんの月単位の予後予測因子を探索するため、本研究を実施することとしました。

●研究の期間

研究機関の長の実施許可日から2025年6月30日まで

●研究の方法

日常診療時に得られる下記の＜利用する試料・情報の項目＞について調査します。

＜利用する試料・情報の項目＞

●試料：なし

●情報：プレアルブミン値、CONUT（Controlling Nutritional Status）、

なお、利用する上記の試料・情報からはお名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報 は削除します。

＜利用を開始する予定日＞

研究機関の長の実施許可日

＜＜利用する者の範囲＞＞

●研究機関名および研究責任者名

京都第二赤十字病院 緩和ケア科 柿原 直樹

＜＜試料・情報の管理について責任を有する者の名称＞＞

京都第二赤十字病院 院長

＜＜試料・情報の利用の停止（受付方法含む）＞＞

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（試料・情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、以下の＜＜問い合わせ先＞＞にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、解析が完了している、結果が論文などで公表されているなどの理由であなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

＜＜問い合わせ先＞＞

研究機関：京都第二赤十字病院

担当者：緩和ケア科 柿原 直樹

住所：〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355 番地の 5

TEL：075-231-5171（代表）